

フムフム

2019年2月28日発行（原則 月1回発行）

第209号 さっぽろ香雪病院リハビリ科

節分レクを行いました！

4 病棟

1月30日(水)に節分レクを行いました。希望者に鬼の腰巻を付けて頂き、全員で鬼の玉入れゲームと鬼とジャンケンゲームを楽しんだ後「鬼のパンツ」を合唱し、タマゴボーロを美味しく食べて終了しました。今年も一年、厄災から逃れて福がやってきますように！！！！



7 病棟

2月6日(水)に節分レクを行いました。豆まきの代わりに鬼のオブジェに向かった的当てゲームを行いました。他にも、鬼のパンツ模様のプリンを試食したり、鬼のお面を被って写真撮影を行いました。皆さんに楽しんでもらったイベントになりました。



～ひな人形をかざりました～

3月と言えばひな祭りですね。

今年も、^{さぎょうりょうぼうしつ}作業療法室にひな人形を展示しています！

ぜひ、作業療法室までお越しいただき、^{てんじ}自慢のひな人形をご覧ください。

^{てんじきかん}展示期間は3/4(月)までとなっています。

^{おみのが}お見逃しなく！！



ほっとサークルのご紹介



みなさんこんにちは。作業療法士北川です。

今月号は「ほっとサークル」というプログラムがありますのでご紹介させていただきます。

このプログラムは少人数制のプログラムで、出来る限りご本人の出来ること、されたいことを大切に、可能な範囲で対応しているプログラムです。誰でもが参加できるといったプログラムではないので、ご紹介する機会がなかったのですが、「色々なプログラムがあるんだな～」と知ってもらえたらと思います。人数の多いところが苦手な方、日頃おっくうで横になっていることが多い方、人とお話をすることが苦手な方などにお勧めです。ご興味ある方は北川まで！

コラム ～ひな祭りの歴史～



6月の風物詩として定着しているひな祭りですが、一体どれほどの歴史があるのでしょうか？ 50年？ 100年？ まさか、200年くらい…？ そのくらいでは済みません。なんと、その歴史は1000年ほど前(平安時代)にまで遡るのです！！！！！！！！

その頃、3月の初めに「巳の節句」という、^{むびょうそくさい}無病息災を願うお払いの行事をしていました。また、同時期の上流階級の少女は「^{はら}ひいな遊び」という、紙で作った人形を用いた”^{ままごと遊び}ままごと遊び”をしていたそうです。

この2つが年月を経て重ねあい、現在のような”ひな祭り”の形になったのだそうです。これが庶民にも広がったのは、意外と最近で、江戸時代あたりだと言われています。

日本には、他にも古来より続く伝統的な行事が行われています。これからも歴史ある風習を大切にしていきたいものですね。

<編集後記>

強力な寒波に襲われるなど、とにかく寒い2月でしたね。そんな2月もう終わり、早くも3月になります。残りわずかな冬ですが、油断せずに健康に乗り切りましょう！

